（別紙様式）　　（Ａ３判横）

令和５年度　学校自己評価システムシート（県立岩槻商業高等学校）

目指す学校像	柔軟で創造的なビジネス人材を地域とともに育む学校

重点目標	
	１　主体的、最適及び効率的、教科横断的な学びによる確かな知識・技能及び課題発見・解決能力を育成する。 ２　自主性、自立・自律の醸成を図り、柔軟に対応できる心身ともに調和の取れた人材を育成する。 ３　進路実現と社会貢献及び活躍の両立ができる一貫したキャリア教育を計画的・組織的に実現する。 ４　発信力を重視し、保護者や地域と連携・協働し、地域に根ざした信頼される学校づくりをする。

達成度		
	A	ほぼ達成 （８割以上）
	B	概ね達成 （６割以上）
	C	変化の兆し （４割以上）
	D	不十分 （４割未満）

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者　学校関係者　　名
生徒　　名
事務局(教職員)　名

※　重点目標は３つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
※　番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価								学校関係者評価
年度目標					年度評価（　月　日　現在）			実施日　令和　年　月　日
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	**【現状】生徒実態を踏まえたきめ細かな学習指導や資格取得は一定の成果を上げている。** **【課題】タブレット導入による授業づくりが始まった。生徒の学習意欲を高め学力向上や資格取得を進めるとともに、基礎学力不足の生徒の学力保証が重要である。** 観点別評価による指導と評価の一体化の検証と学びあいやタブレットなどを活用した生徒の主体性を育む授業づくりが求められる。	協調学習やグループワークによる学びあいやタブレットやＩＣＴ活用による授業を推進し、学習意欲を高める授業を展開するとともに資格取得を推奨する。	①課題発見・解決型の学習指導の研究(研鑽)･推進 ②協調学習を中心とした授業研究による指導力の向上 ③ICT を活用したわかる授業の実践 ④資格取得(上位級含む)指導の実施と取得者の表彰	①②研究授業の実施回数 ③ＩＣＴ活用頻度・方法 ①②③観点別評価の実施状況、アンケート結果 ④埼玉県高校生専門資格等取得表彰の表彰率７割以上 ④上位資格合格者の増加 ④検定バッジ取得者(検定１級１～３種目)の表彰				
		観点別評価の適正な評価となっているかを検証し、生徒の主体性を育んでいく。	①観点別評価による評価方法の確立 ②フィードバックを通じてより適正な評価法への改善	①評価方法の確立(年次進行) ②改善点の検討および修正				
2	**【現状】組織的な**安心安全の学校づくりにより、教育活動が実施されている。 **【課題】コロナ前の学校生活を取り戻すため、授業・学校行事・部活動などあらゆる機会をとらえて、**生徒の人間力を高めていく必要がある。	生徒の人間力（学力や社会貢献が可能となる人格形成）を高める指導を行う。	①即戦力人材としての観点による基本的生活習慣･教科･進路指導の実践 ②部活動実績や生徒の様々な活動を奨励する指導の実施	①学校生活アンケート指標上昇 ②部活動実績や生徒の活躍状況				
		危機管理マニュアルに基づく安全・安心な学校生活を実現する。	①交通安全巡回指導、いじめ防止の組織的指導の実施 ②危機管理マニュアルに基づく防災・安全対策指導の充実	①交通事故件数の減少、いじめ問題等への取組状況 ②感危機管理マニュアルを踏まえた防災・安全対策指導の状況				
3	**【現状】入学から卒業まで**のキャリア教育を計画的に実施し、生徒個々の進路実現は着実に成果を上げている。 **【課題】**進路実現は達成されているが、即戦力人材・明日を担う人材として必要な資質･能力を更に定着させる必要がある。	生徒個々の目標達成に向け、組織的・計画的なキャリア教育を実践し、生徒の自己実現を達成する。	①【1 年】中学校からのキャリア・パスポートを継続かつ発展させる指導の実施 ②【2 年】総合的な探究の時間を中心としたキャリア教育の実施 インターンシップによる就労体験 ③【3 年】具体的な進路実現に向けた、個に応じた進路指導の実施 ④「未来の職業人材育成事業」等による外部教育力活用	①キャリア・パスポートを活用した指導の実践回数等（目標、月１回以上） ②総合的な探究の時間の指導内容の充実度上昇 ③進路実現率、進路指導に対する「満足度」状況 ④外部指導力の活用状況、新たな取組の実践状況				
4	**【現状】**Web 機能を活用した家庭との連絡手段が構築された。生徒募集に効果のある情報発信の検討が必要である。 **【課題】生徒募集に効果が期待できる**情報発信（ＳＮＳ）とＰＲになる教育活動が求められる。	生徒の活躍や教育活動を積極的に広報し、地域や受験生に学校をＰＲする	①学校説明会等の工夫・改善 ②学校 Web ページ上による情報提供の充実、ＳＮＳ導入の検討 ③中高連携の推進	①参加者数増加 ②アクセス数増加 ①②本校への志願倍率上昇 ③連携事業の回数				
		コロナ前の地域貢献活動を再開し、地域連携を推進する。	①地域貢献の企画提案・実践 ②地域が求める貢献に関するニーズの収集	①地域貢献の実践状況 ②地域が必要とする貢献				